

目のまど



白内障 vol.2

今回は、水晶体というピントを調節する部分が白く濁る白内障という病気の概要をお伝えしましたが、今回は具体的な対処方法についてお話しします

白内障への対処は、大きく分けて2つあります

1つは**手術**です。白く濁った水晶体を超音波で砕いて吸い取り、人工レンズを挿入することにより、**視覚の温存と合併症の回避**が可能になります。特殊な検査と手術用器械が必要なので限られた施設での治療になり、当院では手術適応と考えられる患者さんには大学か専門病院を紹介しています。

2つ目は点眼薬やサプリメントによる内科療法です。未熟白内障以上の眼で起こるぶどう膜炎を抑えるために**抗炎症薬の点眼薬**を使用します。7歳以上から発症する**老齢性白内障の初期には、進行を抑える効果を期待した点眼薬**や、酸化予防のサプリメントもあります。

ほとんどの白内障で手術が適応になりますが、特に発症年齢が若く、進行スピードが早い場合は手術をおすすめします。緑内障や水晶体脱臼などの苦痛を伴う合併症の発生率を格段に下げることができます。ただし**網膜の病気があり視覚の回復が期待できない場合、合併症が重度の場合**は残念ながら手術適応にはなりません。

また、猫の白内障は発生が少なく遺伝や外傷、眼の中の炎症などが原因であることが多いようです。治療法は犬と同様です。

白内障点眼薬

しかし上記にとらわれず、治療選択はケースバイケースです。**早期に発見**できれば対処方法の選択肢も広がります。眼の定期的な健康診断を受けて、年をとっても痛みのないキレイな視界をプレゼントしましょう！



編集者 より



お久しぶりです！眼科担当獣医師西谷です。目のまどは3ヶ月に1回の発行となり、その間に発行されるノアニュースは看護師さんに担当してもらったので、お話したいことがたまっていました^^先日の胆振東部地震の際は、ヒトも動物もみなさん大変な思いをされたと思います。改めてお見舞い申し上げます

動物たちもヒトと同じくいまだ不安を抱えている子もいるようです。ささいな行動の変化などでも気になることがあれば、ぜひご相談くださいね！